様式Ｓ－１－６　応募内容ファイル（添付ファイル項目）

基盤Ｓ－１

研　究　目　的

本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては、「科学研究費補助金（基盤研究等）における審査及び評価に関する規程」（公募要領６２頁参照）を参考にしてください。）

① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

④ 基盤研究（A）に、本研究と関連する研究課題を応募している場合には、到達目標等の相違点、また、関連のない研究課題を応募している場合には、研究内容等の相違点（該当者は必ず記述してください。）

研　究　目　的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

研究機関名		研究代表者氏名	

研　究　目　的（つづき）

研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成２４年度の計画と平成２５年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。また、研究体制の全体像を明らかにするために、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割ついても必要に応じて記述してください。

研 究 計 画 ・ 方 法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

研究機関名		研究代表者氏名	

研究計画・方法（つづき）

研究計画・方法（つづき）

研究機関名		研究代表者氏名	

今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。
① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項（該当者は必ず記入してください（公募要領１７頁参照））

本欄には、研究代表者として行っている平成 24 年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、今回再構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述してください。（なお、本欄に記述する継続研究課題の研究成果等は、基盤Ｓ－7 の「これまでに受けた研究費とその成果等」欄には記述しないでください。）

研究種目名	審査区分	課題番号	研　究　課　題　名	研究期間
				平成　年度～ 平成 24 年度

当初研究計画及び研究成果等

応募する理由

これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。（平成２２年度又は平成２３年度の科研費の研究進捗評価結果がある場合には、基盤Ｓ－９「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄に記述してください。）

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述ください。

これまでに受けた研究費とその成果等（つづき）

研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成２２年度又は平成２３年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（Ｓ）」、「若手研究（Ｓ）」又は「学術創成研究費」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。
・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

研究機関名		研究代表者氏名	

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領４頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えＤＮＡ実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

研究経費の妥当性・必要性

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体の研究経費の９０％を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

主な現有設備（記入に当たっては、基盤研究（Ｓ）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。）

研究機関	設　備　名	仕様（形式・性能）	専用・共同利用の別	設置年度	備　考

設備備品費の明細（記入に当たっては、基盤研究（Ｓ）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。）（金額単位：千円）

年度	品名・仕様	数量	単価	金額	主として使用する研究者及び設置機関名	購入予定時　期
２４						

研究機関名		研究代表者氏名	

消耗品費等の明細

（記入に当たっては、基盤研究（Ｓ）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。）　（金額単位：千円）

年度	消耗品費		旅　費		人件費・謝金		その他	
	事　項	金額	事　項	金額	事　項	金額	事　項	金額
平成24年度			（国内）					
			（外国）					
	計		計		計		計	
平成25年度			（国内）					
			（外国）					
	計		計		計		計	
平成26年度			（国内）					
			（外国）					
	計		計		計		計	
平成27年度			（国内）					
			（外国）					
	計		計		計		計	
平成28年度			（国内）					
			（外国）					
	計		計		計		計	

平 成 ２４ 年 度 基 盤 研 究 （Ｓ） 研 究 者 調 書

研究者	（ふりがな） 氏　名			生年月日 （年齢）	Ｓ　　年　　月　　日 （　　歳）	
	所属研究機関 ・部局・職		学位		現在の専門	

研究業績

本欄には、これまでに発表した論文、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く。）、産業財産権、招待講演のうち、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

発表論文名・著書名　等

（例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。）（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。）

研究機関名		研究代表者氏名	

研究業績（つづき）

研究代表者・研究分担者毎の研究者調書に作成・添付

基盤Ｓ－１５

研究者氏名	

研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本欄は、合議審査において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。

本応募課題の研究代表者又は研究分担者の応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。
② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域提案型）」又は「特定領域研究」にあっては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

（１）応募中の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役　割（代表・分担の別）	平成２４年度の研究経費（期間全体の額）（千円）	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由（研究代表者(又は拠点リーダー等のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体（又はプログラム全体)の受入額を記入すること）
【本応募研究課題】 基盤研究（Ｓ） (H24～H　)			（　　）		

研究機関名		研究代表者氏名	

研究代表者・研究分担者毎の研究者調書に作成・添付

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）

（２）受入予定の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割(代表・分担の別)	平成２４年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (研究代表者(又は拠点リーダー等のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体（又はプログラム全体)の受入額を記入すること)

（３）その他の活動

上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。

合　　計 （上記（1)、(2)、(3）のエフォートの合計）	100 (%)	